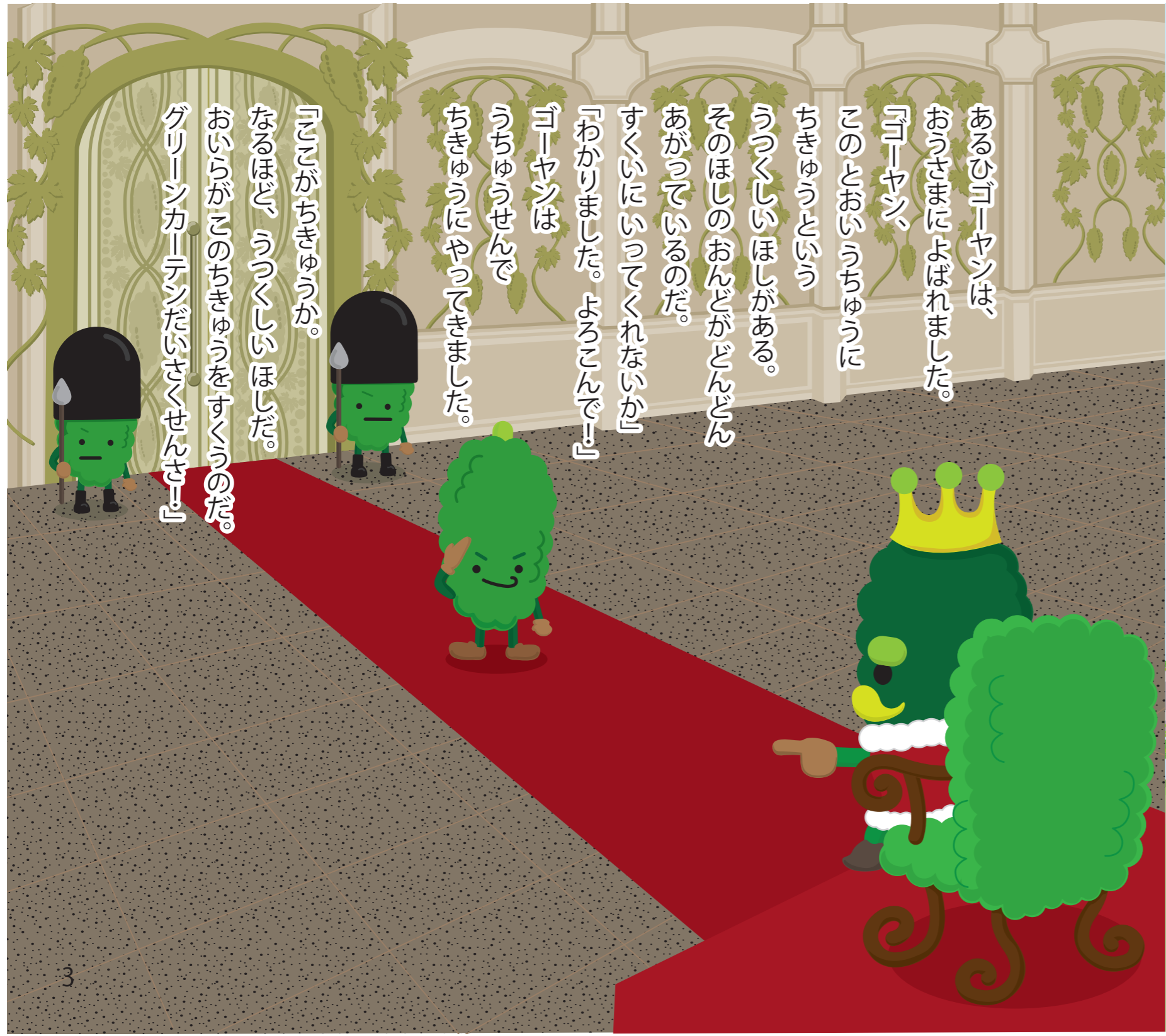


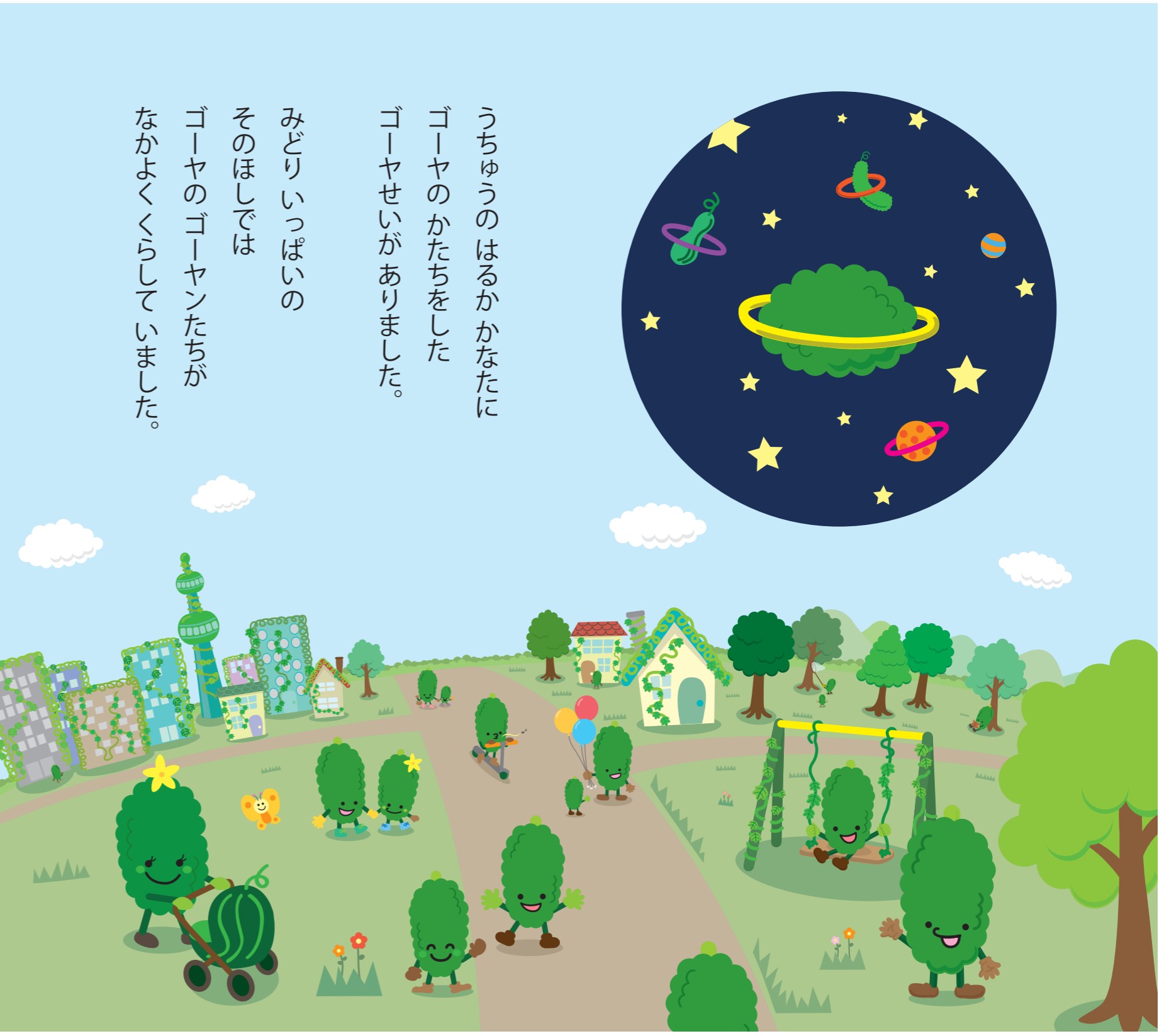


さく ふくたにまさし
え こむりな
かんしゅう おざわきみこ
はっこうもと かんきょうしょう



「ここがちきゅうか。
なるほど、うつくしいほしだ。
おいらがこのちきゅうをすくうのだ。
グリーンカーテンだいさくせんさー」

ちきゅうにやってきました。
ゴーヤんは
うちゅうせんで
「わかりました。よろこんでー」
あがっているのだ。
そのほしのおんどがどどん
うつくしいほしがある。
ちきゅうという
このとおいうちゅうに
あるひゴーヤんは、
おうさまによばれました。
「ゴーヤん、



うちゅうのはるかかなたに
ゴーヤのかたちをした
ゴーヤせいがありました。
みどりいっぱい
そのほしでは
ゴーヤのゴーヤんたちが
なかよくくらしていました。

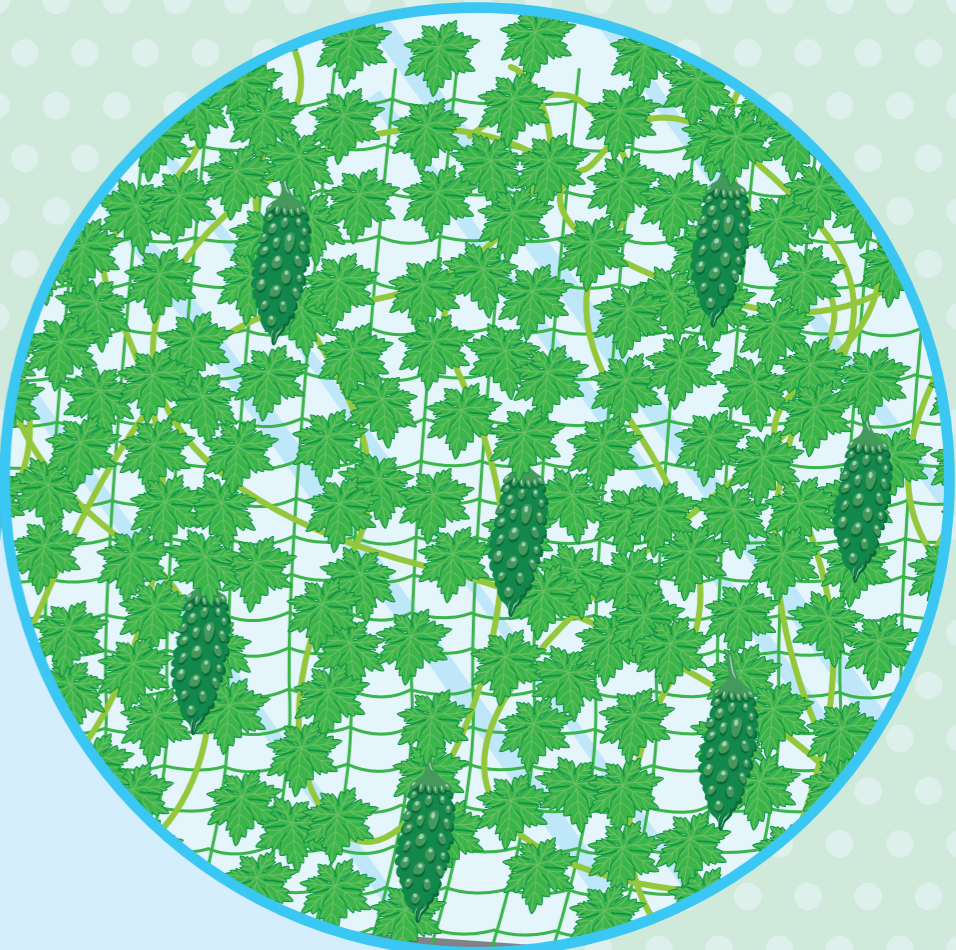


でんきの
せつやく

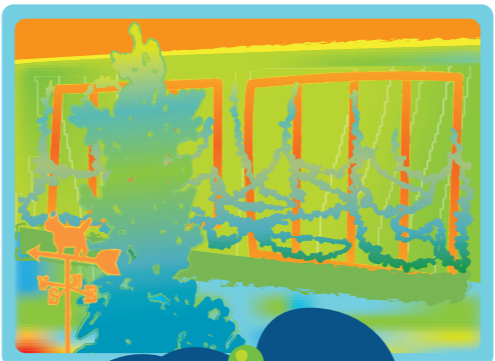
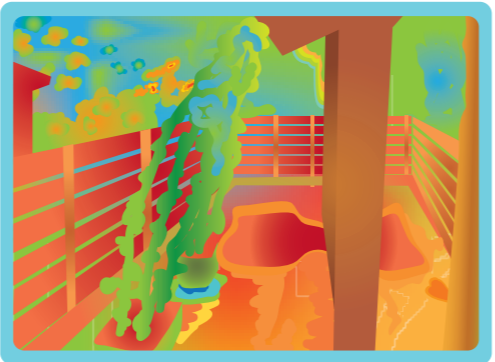
「あなたはだれ？」
「はじめまして。」
わたしは「ゴーヤン」です。
でんきのせつやくのために
おたくのにわに
あなをほっていたのです」
「でんきのせつやくっ。」
ふたりはかおをみあわせて
いいました。



りょうごちゃんはおどろいたかおでふりむきました。
「あ、りょうごちゃん」
りょうごちゃんはおそななじみのごつやくんが
いえのにわをのぞいているのにききました。
「ごつやくん、なにをみているの？」
りょうごちゃんはききました。
「あ、りょうごちゃん」
ごつやくんはおどろいたかおでふりむきました。
「あそびにいらの、なに？」
ごつやくんがゆびをさしたそのときは
あなをほっている「ゴーヤン」のすがたがありました。



「そうなんです。
グリーンカーテンってしてってますか？」
「それはなんだい？」
「こういうやつなんですけどね」
「ゴーヤンがピストルのようなもので
りょうこちゃんのいえのかべに
えいぞうをうつしました。」
「どうです。みたことあるでしょ」
「あー、あるある！ やってるがっこうあるよね」
「でも、どうしてこれで、でんきのせつやくになるの？」



「この、おんどがみえるめがねをつけてください」
「じゃね？」

「しょくぶつのおかげになっている
ところは、あおっほいでしょっつ？」
「ほんとうだ」

「おんどがひくくなっているんです。
このしゃしんをみてください。
したのへやには

グリーンカーテンがあるのです」

「うえのへやはあつそうだね」

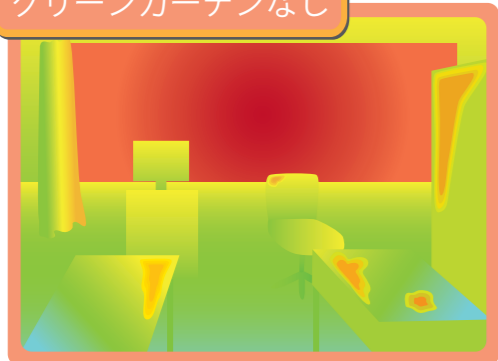
「グリーンカーテンがないと

ねつがへやにたまって、

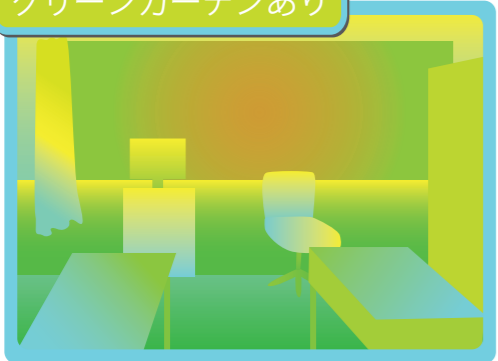
あさまであついじょうたいが

つづくのです」

グリーンカーテンなし



グリーンカーテンあり





「しまじろ」

「こういうことね。」

「しよくぶつで」

「いえをおおうと、」

「かげになって」

「おんどうがあがらない。」

「だからクーラーを」

「ずっとつけて」

「おかなくてもいい。」

「どういふことは…」

「でんきの」

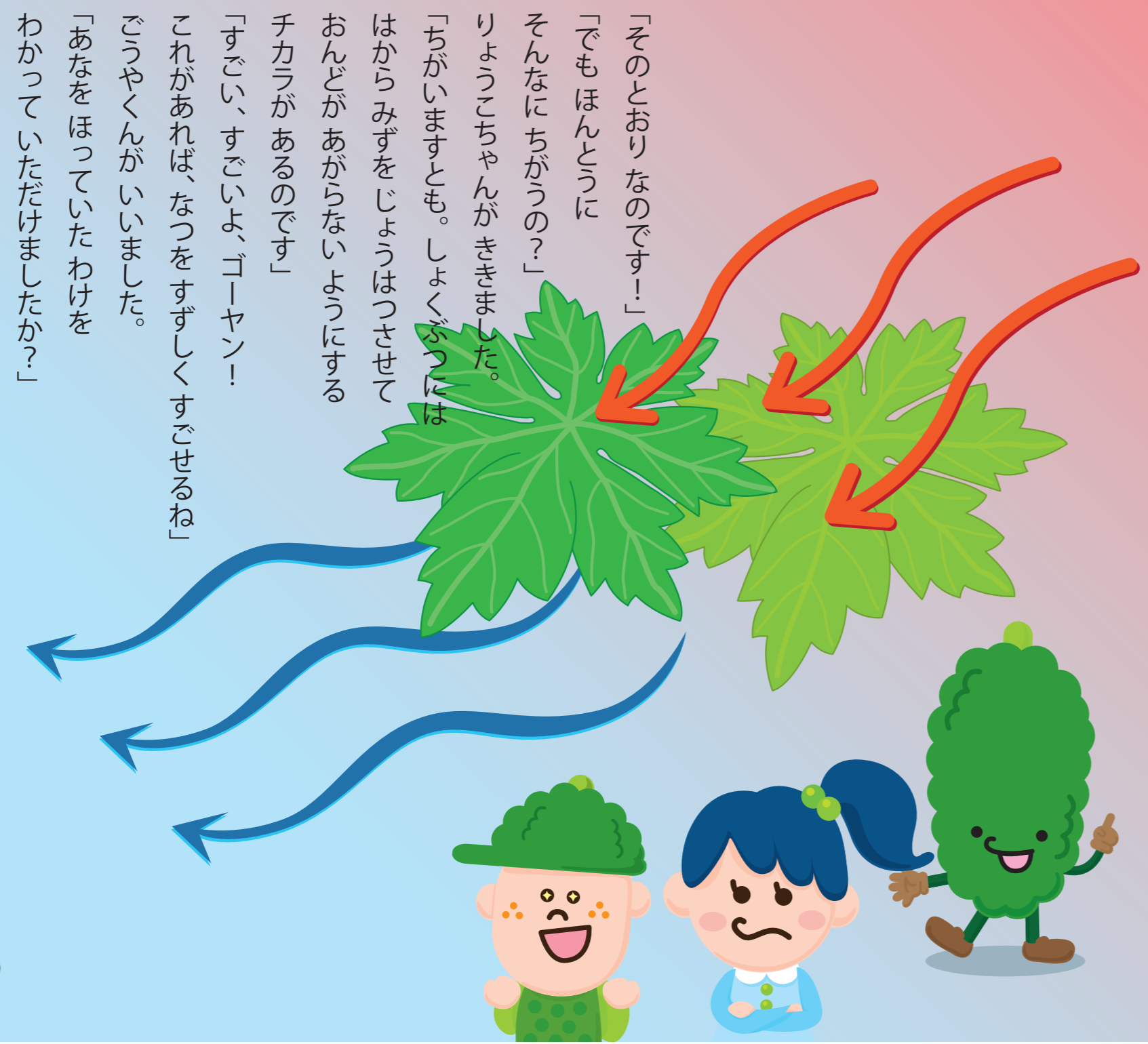
「せつやくになるー!」

「ごつやくんが」

「おおきなこえでいいました。」

OFF!!

でんきの
せつやく!



「そのとおりなのです!」

「でもほんとうに」

「そんなにちがうの?」

「りようこちゃんがききました。」

「ちがいますとも。しよくぶつには」

「はからみずをじょうはつさせて」

「おんどうがあがらないようにする」

「チカラがあるので」

「すごい、すごいよ、ゴーヤン!」

「これがあれば、なつをすずしくすごせるね」

「ごつやくんがいました。」

「あなをほっていたわを」

「わかっていただけましたか?」

「わかったわ。わたしはりょうご。このいほけんや。
ゴーヤのカーテンをつくりましょう」
「わかっていただけましたか！
それではさっそくはじめましょう」

1

たねを
みずにつけます

「まずたねのどがったところを
カットします。」

そしてようきに
ティッシュなどをしいて
みずでヒタヒタにし、
たねをそのうえに
ねかせます」

「へー」
「そして3〜4にちで
しろいねがでてきます」



「しろいねがでたら
たねをポットに
いれましょう。」

しろいねをしたむきに。
いっしゅうかんほどで
めがでます」

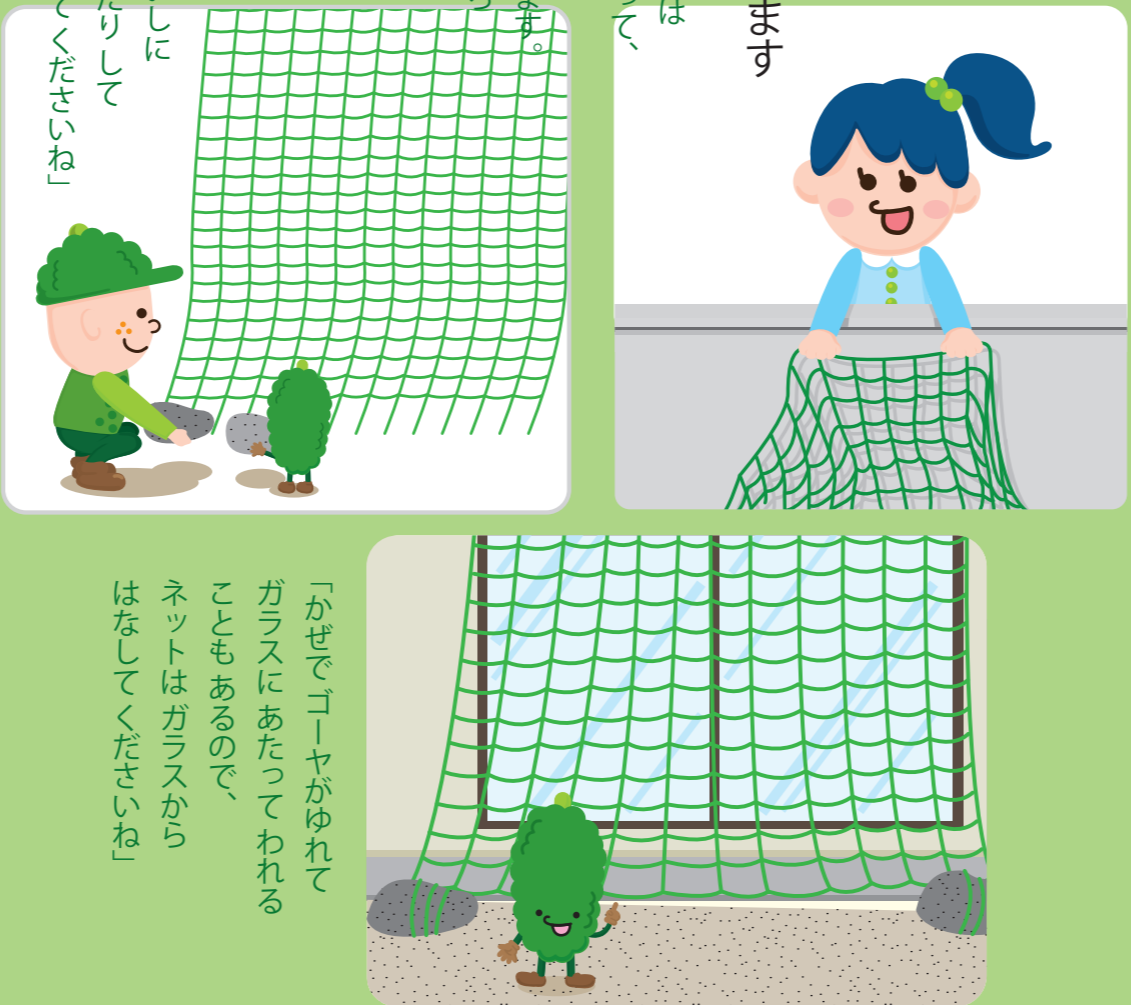
2

ネットをはります

「わたしたちゴーヤは
ひもなどをつたわって、
うえへのびる
しゅうせいがあります。
だからベランダから
ネットをはって
おきましょう。」

「ネットをいしに
むすびつけたりして
ピンとはってくださいね」

「かぜでゴーヤがゆれて
ガラスにあたってわれる
こともあるので、
ネットはガラスから
はなしてくださいね」



3

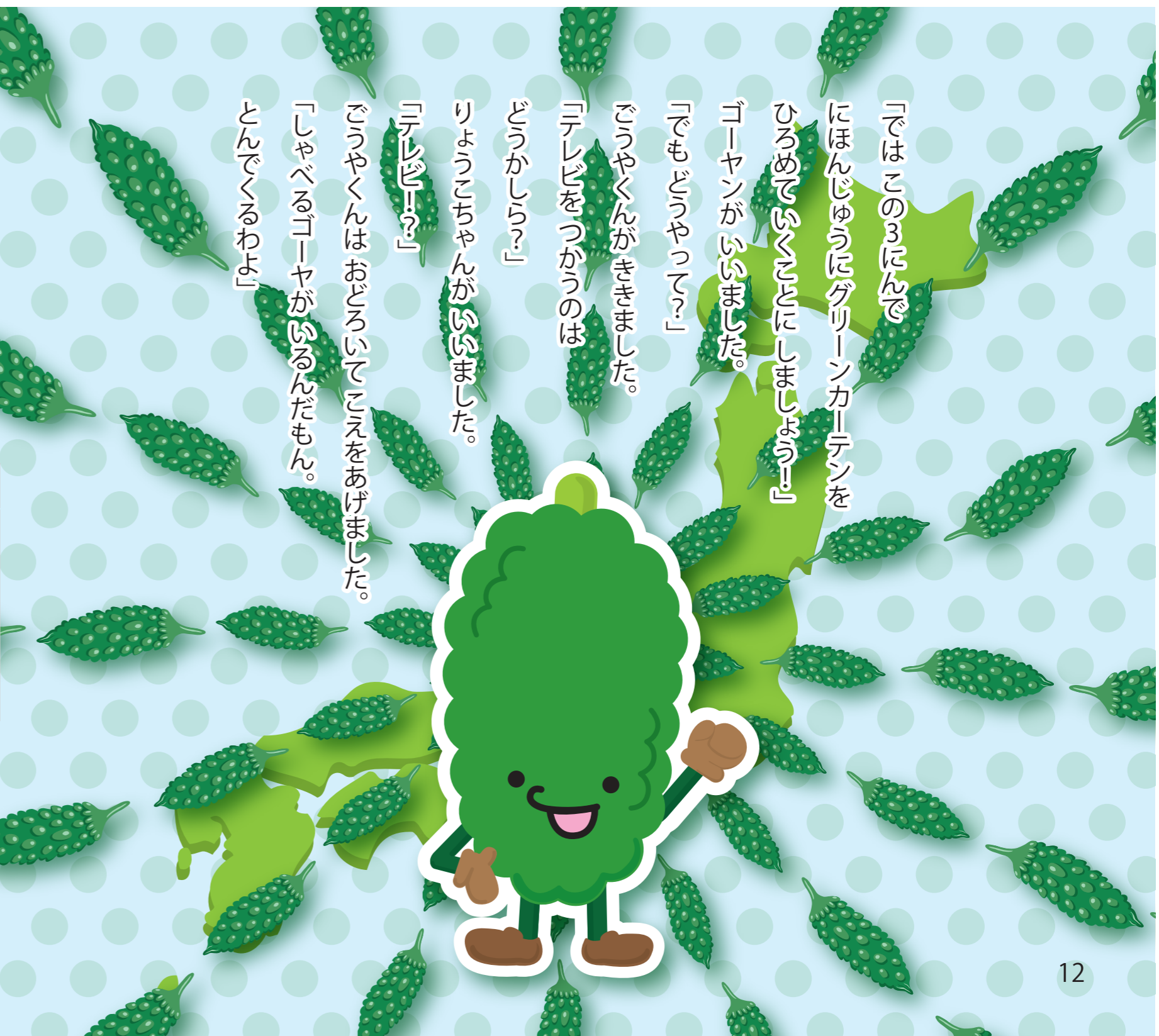
なえをうえます

「めがでてにしゅうかんくらいたつと
てのひらみたいなかたちの
ほんばがでてきます。
ここでいよいよよかえます」



「50センチから
80センチの
あいだをあけて
なえをうえて
いきますよ」

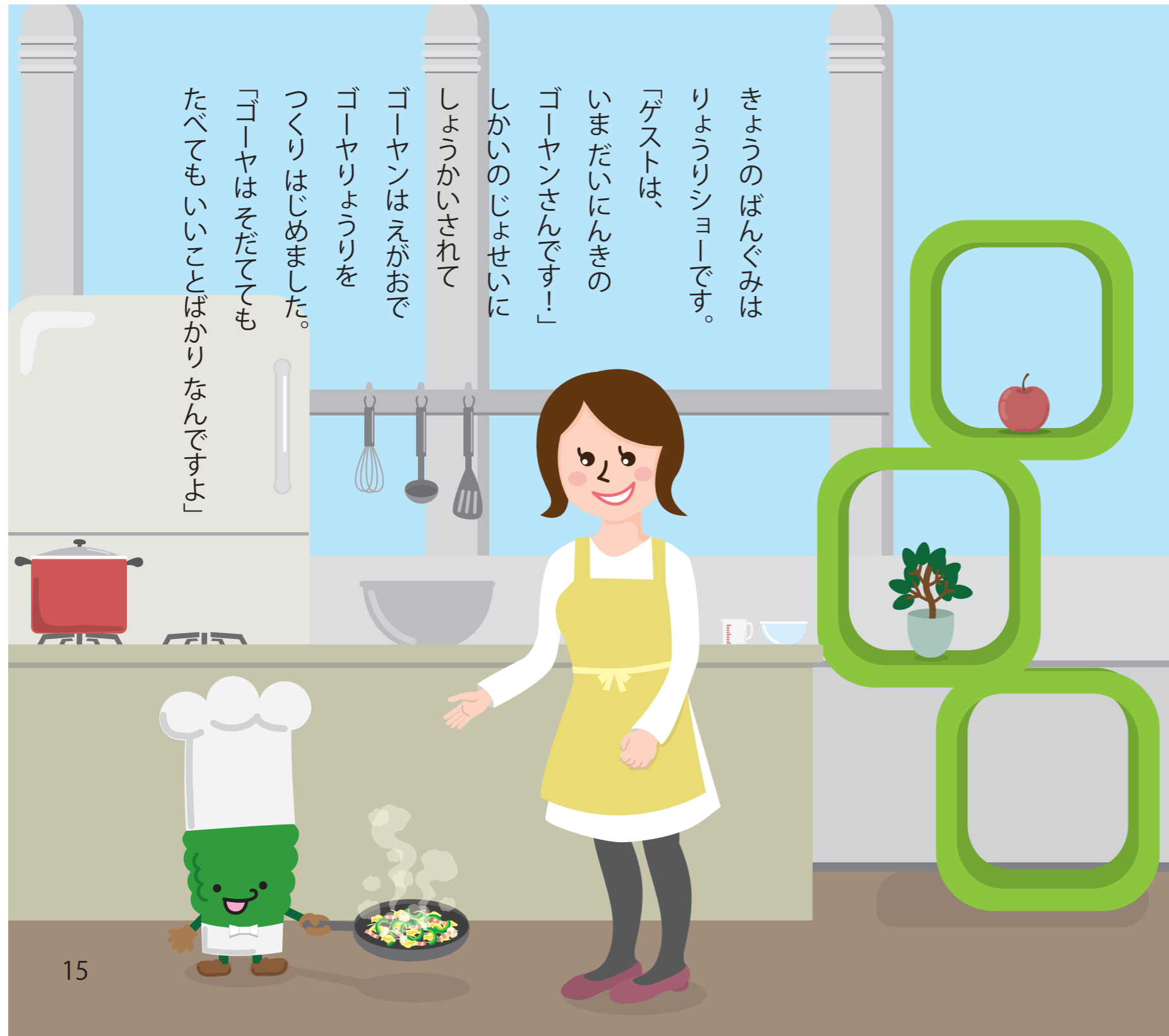
3にんはしんちょうにグリーンカーテンがいえをおおったときのことを
そうぞうしながらゴーヤのなえをうえていきました。
「りょうごちゃん、これでなつはかいてきにすごすことができますよ」



「ではこのイベントにほんじゆうにグリーンカーテンをひろめてらんやないかしまじやうー!」
 ゴーヤンがいらしました。
 「でもランヤって...」
 ごうやくんがききました。
 「テレビをつかうのはランヤかしら...」
 リョウごちゃんがいりました。
 「テレビー?」
 ごうやくんはおどろいてこえをあげました。
 「しゃべる「ゴーヤ」がいらんだもん。とどくわのわよ」



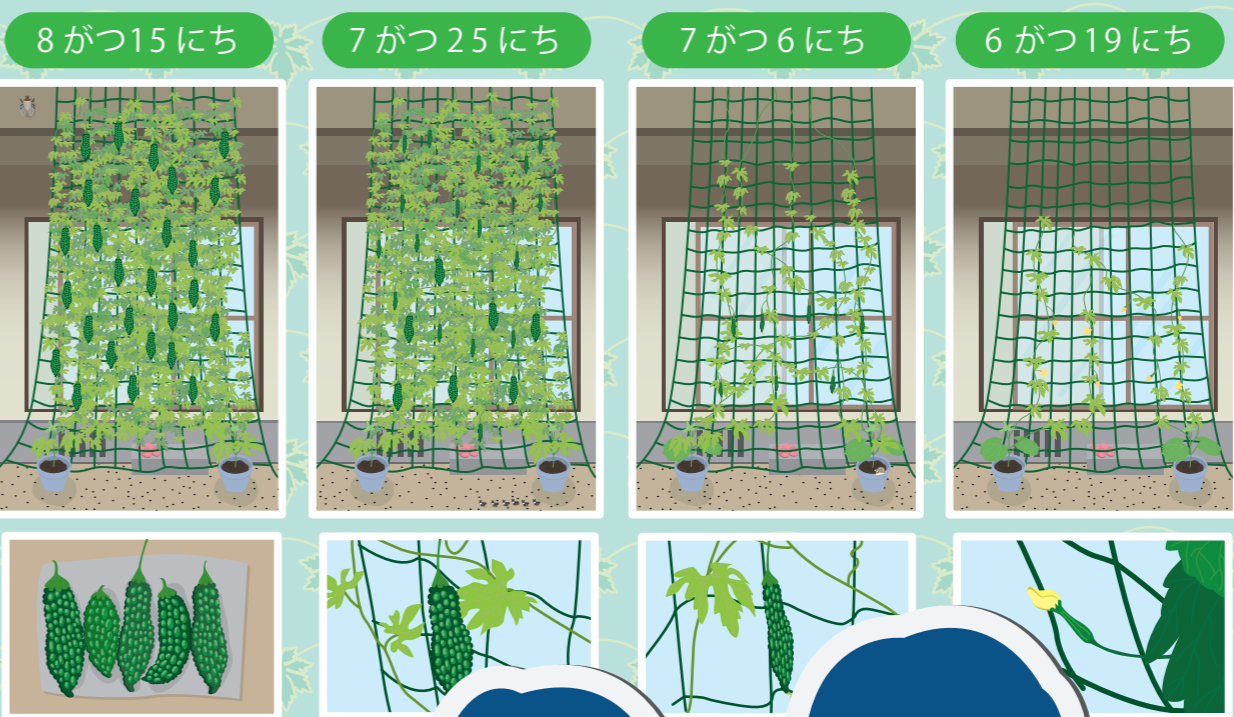
リョウごちゃんの
 いったとおり、
 テレビきょくはぞくぞく
 しゅせうにやってきました。
 「「ゴーヤン」はしゃべらんのですか、
 ランヤランヤですか?」
 「ランヤしてしゃべれるのですか?」
 「せひランヤのばんぐみにでくたせら...」
 ゴーヤンをかこんだ
 テレビきょくのひとたちは
 こつばんぎみです。
 「なによ、「ゴーヤン」にぼっかじ。
 このわたしにもしゅせうしなせらよー!」
 テレビクルーにむしをされて
 リョウごちゃんはふくれがおです。



ゴーヤンは
テレビにひっぱりだこ。
いろいろなばんぐみで
グリーンカーテンの
よさをかたりました。
そのおかげで
グリーンカーテンが
にほんじゅうに
ひろまっていきました。
ゴーヤンもにんきもの
になりました。



いつぽつ、りようこちゃんはいえのゴーヤはスクスクと
 そだつていました。5がつ、6がつ、7がつ、そして8がつ。
 「ことしのなつはグリーンカーテンのおかげでかいてきだねえ」
 「よるにエアコンをつかわなくてもあつくないしね」
 りようこちゃんのかぞくにグリーンカーテンはだいこうひょうです。



そしてにほんじゅうでいろいろな
 グリーンカーテンがうまれていました。
 がっこうやしよくば、おうちでも。
 かたちもそれぞれとてもユニークです。
 にほんのでんきをつかうりようも
 きよねんとくらべて
 グンとへらすことができました。



「うん、てっだうよ」
りょうこちゃんのことばに、ごうやくんは
ニッコリとうなづきました。

「こののなつも
すてきなカーテンをつくるわよ」
かいてきななつがもどってきたのです。
みられるようになりまして。
なつには、ほんじゅうで

ときがたち、

ごうやくんとりょうこちゃんは
ちゅうがくせいになりました。

ゴーヤンがひろめたグリーンカーテンは



「これでちきゅうのおんども
さがっていくことだろう。
おうさまにほうこくするために、
ゴーヤせいにかえりましょう」
ゴーヤンはうちゅうせんで
かえっていきました。

